

講義名	障害者福祉論		
担当教員	池山 美代子		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
<b>主題と概要</b>			
<p>本講義は、障がい者の定義、障がい者福祉の基本理念、制度を学ぶことにより、障がい者への理解および障がい者への知見を養うことを目的としている。障がい者福祉の理念がどのように変遷してきたのか、歴史から学ぶ。障がい者福祉の運動の歴史についても学ぶ。障がい者福祉の現場で働く当事者・支援者の生の声を聴く機会をつくる。</p>			
<b>到達目標</b>			
<p>障がい者福祉の歴史を学び、障がい者の生活実態及び理念を理解するとともに、障がい者福祉の現場で働く専門職に求められる専門的な知識と、具体的な支援に必要な基礎知識を学ぶことにより、自らの障がい者観について内省を深め、共生社会とは何かということについて考える。</p>			
<b>提出課題</b>			
<p>授業ごとにレポート課題を課すので指定期日までに提出する</p>			
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>			
<p>・レポート課題の解説は、次回以降の授業内で行う。・疑問点や質問についても同様とする。</p>			
<b>評価の基準</b>			
<p>・授業ごとのレポートの内容で評価する。</p>			
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>			
<p>・より理解を深めるためには、日々報道番組等の視聴や新聞の購読、インターネットの閲覧等を通して、社会の動向をチェックしておくことを推奨する。          ・体験的理解を深めるためには、福祉現場でのボランティア活動を推奨する。          ・社会福祉士主任任用資格の指定科目であり、この資格の取得を目指している学生はぜひ受講してほしい。</p>			

<b>教科書</b>				
.使用しない。				
<b>プリント資料及び参考文献</b>				
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の概念と理念</li> <li>2. 障害の概念と理念</li> <li>3. 障害者の生活実態とそのニーズ</li> <li>4. 国連障害者の権利条約と障害者運動の歴史</li> <li>5. 障害者福祉の法権について</li> <li>6. 障害者の福祉サービス（障害者総合支援法）</li> <li>7. 障害者の福祉と労働</li> <li>8. 障害者の所得保障</li> <li>9. 障害者の社会参加</li> <li>10. 障害児の福祉サービス</li> <li>11. 障害者に関わる法体系</li> <li>12. 結核・機関の役割</li> <li>13. 専門職の役割・倫理</li> <li>14. 専門職の役割と実態</li> <li>15. 多職種連携・ネットワーク</li> </ol>				
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
<p>予習：日本語から新聞の購読、テレビ等のニュース・報道番組等の視聴、インターネットの閲覧等を通して、わが国の障害者福祉の現状について調べておくこと（トータルで30時間程度）。可能であれば、障害児・者施設等の見学や障害児・者対象のボランティア活動に参加し、障害児・者支援の現状を知るとともに障害児・者との交流を経験しておくこと。          復習：授業中、トビックス毎に、重要なポイントやキーワードを指摘するので、配布した資料を基に知識を整理し、参考図書やインターネットを利用して理解を深めること（2時間程度/週）。</p>				
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>				
<p>(9)人間社会学部人間健康学科          054 社会における人々の健康の維持・増進に関連する職種・業界で活躍するための、実践的・創造的な能力を身につけている          障害者福祉について本講を学修することで福祉職における実践的な知識を修得できる。</p>				
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
<p>一方的な講義のみでは無く、学生への質疑応答を促し、双方向授業に努める。</p>				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
<p>「実務経験あり」          実際の体験談を学生に伝え、リアルな障害者福祉の実情も学修してもらおう。</p>				
<b>備考</b>				